

# 金山ダムの防災操作効果について

平成24年4月26日より降り続けた雨および融雪により、空知川の上流にある金山ダムでは、**河川の水位を低減させる防災操作を実施しました。**

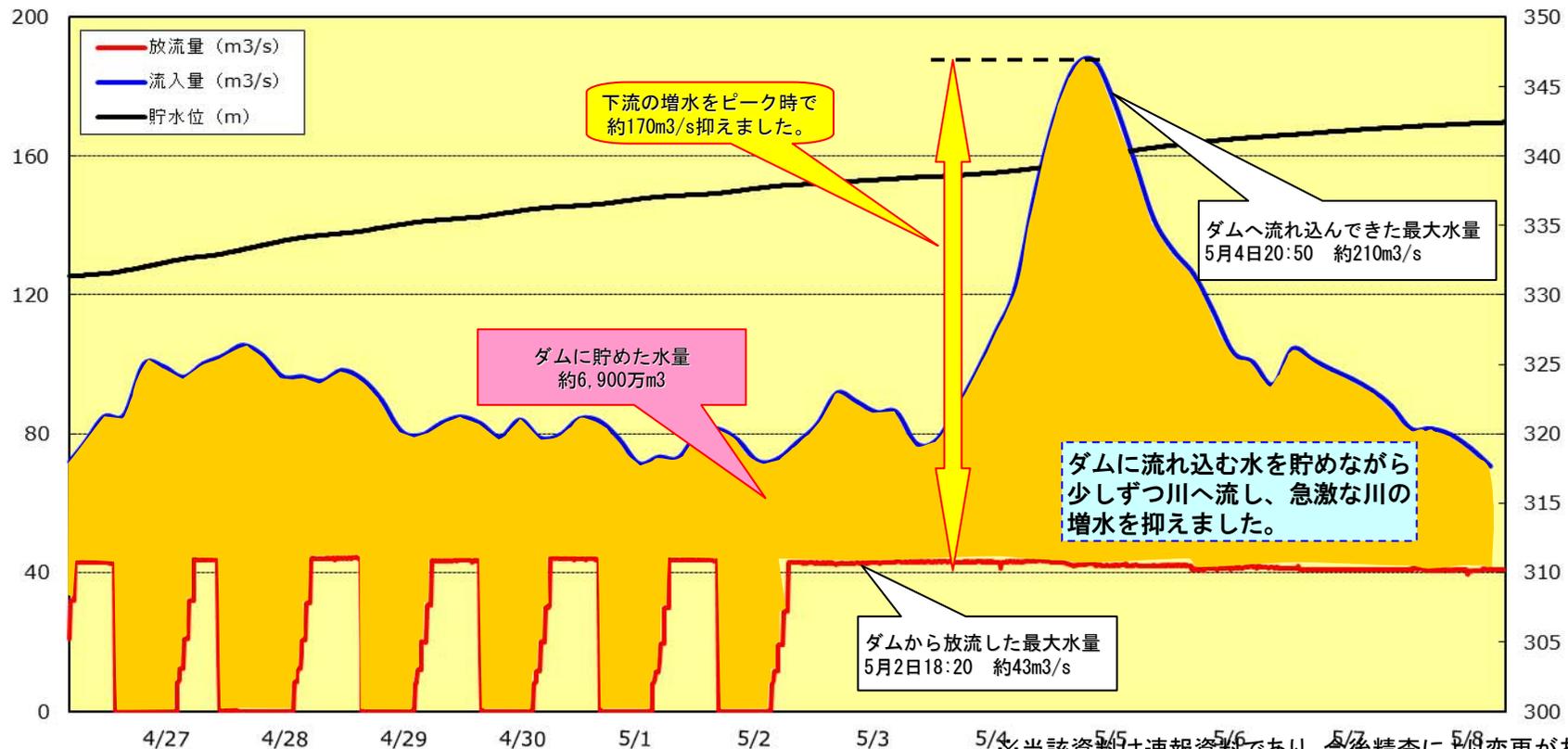
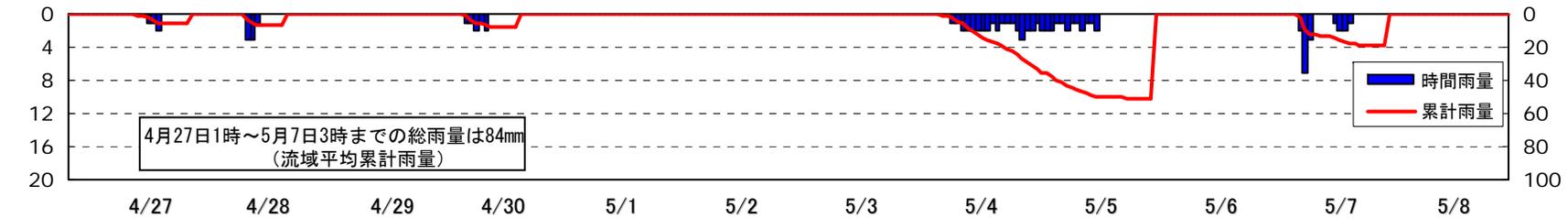
ダムに流れ込んでくる水を一部貯め込み、下流に放流する水を少なくすることで、布部大橋付近（布部水位観測所）の水位を最大**概ね1 m程度低減**させたと想定されます。



※当該資料は速報資料であり、今後精査により変更があり得ます。

# 金山ダムの防災操作状況

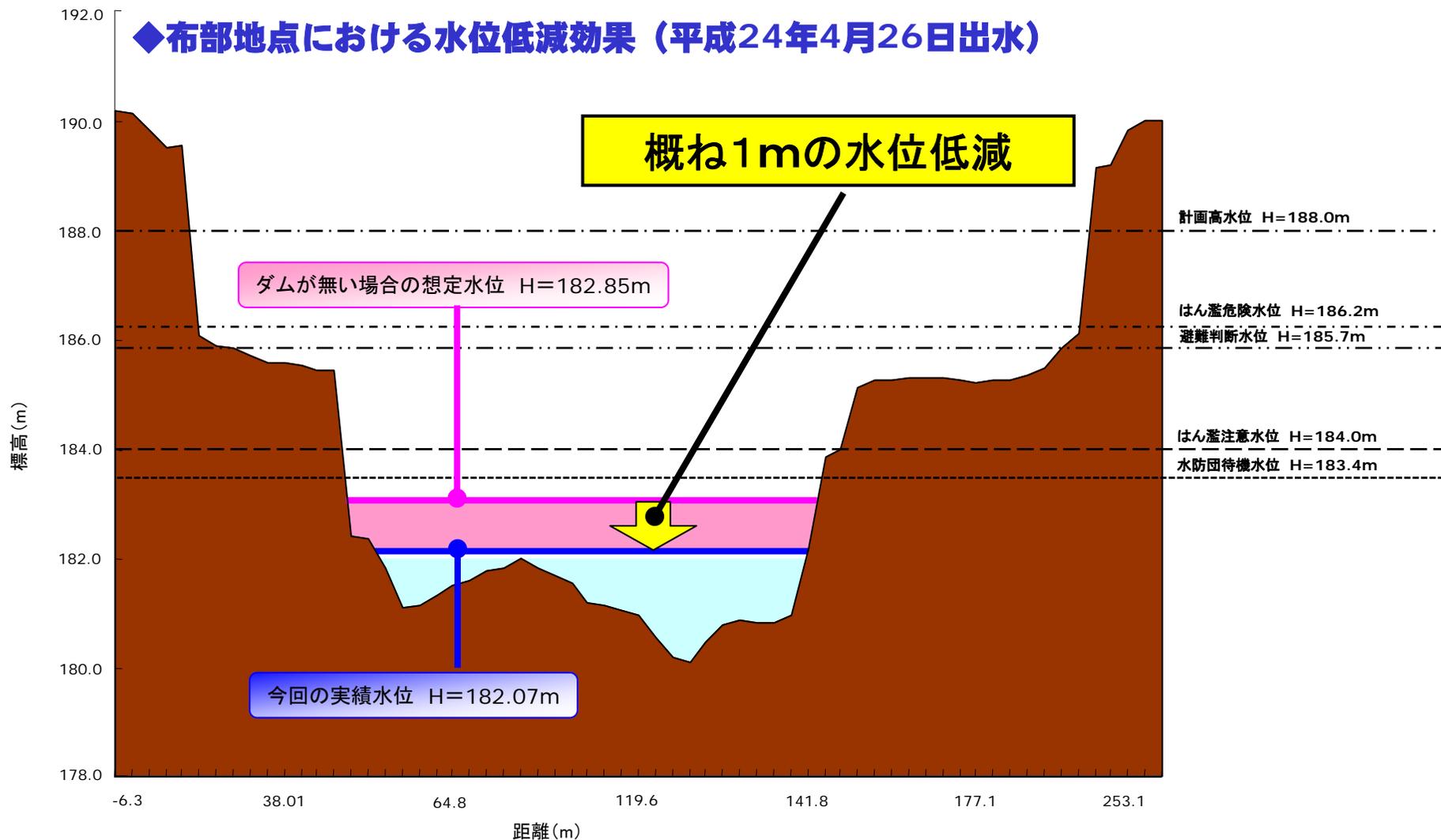
今回の出水において、金山ダムでは、最大で毎秒約210m<sup>3</sup>の流入がありました。それに対し下流への放流を最大でも毎秒約40m<sup>3</sup>程度に抑え、**約6,900万m<sup>3</sup>（札幌ドーム約43個分）**の洪水をダムに貯め、下流河川の水位低下を図ることが出来ました。



※当該資料は速報資料であり、今後精査により変更があり得ます。

# 金山ダムによる水位低減効果（布部水位観測所地点）

平成24年4月26日出水の際、金山ダムの防災操作により、空知川の布部大橋付近（布部水位観測所）の水位を**概ね1m低減**させたと想定されます。



※当該資料は速報資料であり、今後精査により変更があり得ます。